

平成 29 年度事業報告および決算

平成 30 年 5 月 28 日



北陸経済連合会

平成 29 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（総合対策委員会）

I. 住みたい、働きたい、魅力あふれる北陸
1. 地域力の向上：総合対策委員会

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
(1) 地方定着・地方回帰による定住人口増加に向けた取組み ①魅力ある仕事、職場の創出	・企業の技術開発や競争力を強化するための国の補助金等支援制度（「サポイン補助金(戦略的基盤技術高度化支援事業)」、 「ものづくり補助金」等）の紹介（HP、トピックス、懇談会等） ・企業の人材育成に資する補助金等支援制度（「地域中小企業人材バンク事業」等）の紹介（HP、トピックス、懇談会等）	○当会HPによる国・県等の施策の紹介 ・65 歳超雇用推進助成金 3 コースのリーフレット （(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構）(5/25) ・「地域未来投資促進法の施行について」（経済産業省）(8/8) ・「G 空間 I C T 第 4 回北陸まちづくりトライコンクール」 （総務省北陸通信局 他）(11/16) ・シンポジウム「5 G（第 5 世代移動通信システム）が造る未来」 （総務省北陸通信局 他）(2/4) 等 19 件発信	・当会HPでの紹介や会報・トピックス発送のタイミングを捉えた紹介を継続
②北陸地域内大学との連携による人材育成および域内就業促進 ・「北陸のシェアトップ 100」等による北陸地域の優れた企業の PR ・北陸地域内企業のインターンシップ制度の導入促進 ・北陸地域内企業の優れた人材の大学への講師派遣の促進 ・国際人の育成（海外インターンシップの促進支援 等）	・「北陸のシェアトップ 100」更新 ・「北陸のシェアトップ 100」の北陸域内大学への配布、周知、大学説明会等での活用 ・「北陸のシェアトップ 100」以外の魅力ある北陸企業紹介 ・会員大学就職課との更なる連携（企業情報提供、北陸生活環境の優れた点アピール） ・北陸での就職率向上を目指した、三県推進組織との連携（会員企業との個別マッチング、域内企業情報提供、北陸生活環境の優れた点アピール、会員企業への三県推進組織の紹介） ・インターンシップに関する情報等（実施例、補助金等制度等）の会員への PR ・他経連取組み状況調査（中経連ほか） ・北陸内大学（会員大学）での実態やニーズ（希望人材、講義内容等）調査 ・会員企業と大学とのマッチング支援(ASEAN を中心とした海外インターンシップ) ・北陸 AJEC、JICA 等との連携、支援(補助制度の説明や案内等) ・域内大学留学生の域内定着(就業)支援 (参考) 会員 12 大学の留学生の北陸への就職率[H29.3 月] 留学生総数 217 人⇒うち、北陸での就職 43 人 (19.8%)	○新規シェアトップ企業を調査し、「北陸のシェアトップ 150」として発行（H30.4 月） ○「北陸シェアトップ 100」の活用 ・各種懇談会・講演会・展示会・大学講義等において配付し、PR を実施 ○第 4 回北陸産学連携懇談会（学長懇）開催（8/2） ・テーマ：「学生の地方定着」 ○富山大学見学会（先端技術推進委との合同開催）(8/2) ・会員企業による富山大学 五福・杉谷キャンパスでの研究内容視察 ○産学連携交流会「外国人留学生就職・採用促進シンポジウム」（3/7） （共催：北陸 AJEC 等） ・金沢大学等会員 9 大学および信州大学の国際交流部門・就職支援部門、企業の人事・採用担当、行政計 90 名が参加 ○文科省による「インターンシップの推進等に関する調査研究協力者会議」の検討状況を調査・把握 ⇒H29.5「企業の採用活動に直結するインターンシップは認めない」との結論 ○中部経済連合会の「企業・人材プール」事業の状況を聴取（今年度から本格的に展開） ○金沢大学が取り組む『「かがやき・つなぐ」北陸・信州留学生就職プログラム』にコンソーシアムの一員として協力 ○「ベトナム経済交流会議 in 金沢」（5/17） 「ベトナム政府高官との経済交流会議 in 金沢」（10/20） ・金沢大学や北陸先端大学より留学生招待 ○「海外展開支援施策セミナー in 北陸」（6/13） ・JETRO(日本貿易振興機構)、JICA(国際協力機構)等の各種補助制度について説明 ○「TPP11 等経済連携協定と WTO 戦略活用セミナー」（3/12）	・大学の「知」と連携し産業振興や国際経済交流などの事業の更なる推進を図り、また経済界としても北陸の「知」の拠点としての大学の発展に向けた協力を実施。引き続き、学長懇等から出てきた課題の検討を進めながら連携を深めていく。 ・「北陸のシェアトップ」について、幅広い機会を捉えて周知・PR を実施。 ・学生の地元企業に対する認識を深めるため、各県インターンシップ推進組織や大学の COC+事業との連携を強化していく。 ・講師派遣に関する他経連取組み状況の調査を実施するとともに、北陸地域の大学側のニーズを把握。 ・留学生に対して地元企業との出会いの場を提供し、両者の交流・情報交換の場を提供。引き続き、留学生の定着等の促進に向けた取組みを実施。 ・北経連事務局にて、外国人留学生を含む会員大学からのインターンシップ受入れの検討。
③域外大学進学者等の UIJ ターンの促進 ・域外大学進学者に対する「北陸シェアトップ 100」等による北陸地域内の優れた企業の PR	・自治体等との連携（域外での就職フェア等へ協力） ・域外大学（大都市圏大学の就職担当部門）への情報発信	○関東地区大学理工系就職研究会(事務局：千葉工大)へのアプローチ ・12/15 訪問。UI ターン動向、インターンシップ等の情報交換 〔北陸の企業立地環境等 PR を目的に北経連等が出展する産業展示会「ネブコン・ジャパン」（1/15～19 ビッグサイト）への来場要請〕 ※ネコン：National Electronic Packaging & Production Conference の略	・自治体や会員大学就職課との連携を密にし、域外での北陸企業紹介機会の積極的な活用を目指す。 ・域外大学（大都市圏大学の就職担当部門）への情報発信を継続。

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
(2) 女性が働き続けられる社会の実現に向けた取組み ①女性部会の提言（子育て、介護等、離職防止のための施策に関するもの等）	・女性・子どもの北陸移住に向けたPR、部会員による女性活躍先進企業や自治体等の子育て先進事例視察、意見交換 ・女性が働き続けられる社会実現に向けた政府要望項目検討、政府要望活動への参加	○ひとり親家庭の北陸移住推進 ・とやま移住・転職フェアへの出展（7/9：富山県内企業5社） ○北経連各委員会との意見交換 ・総合対策委員会委員との意見交換（6/7） ・社会基盤整備委員会委員との意見交換（12/1） ・広域観光推進委員会委員との意見交換（3/12） ○政府要望対応 ・政府要望項目検討（6/7）、女性部会役員（浅野女性部会長、森田副部会長）による政府要望同行（7/24） ○会員懇談会（石川会場）とのタイアップによる講演会等の実施（2/19） ・懇談会テーマ：「北陸への移住促進」（講師：金沢市 木谷都市整備局長） ・講演会テーマ：「女性活躍推進」（講師：内閣府男女共同参画局 岡田総務課長） ・女性部会員と講演会講師（岡田総務課長）との意見交換	○ひとり親家庭の北陸移住推進の取組みの推進 ・受入先（就職先）確保に向けた会員企業への協力依頼 ・富山県以外の石川・福井県や北陸3県合同で開催される移住フェアへの出展、市町村との連携強化等 ・移住先進地域における取組事例調査等 ○女性部会活動の強化 ・北経連の各委員会との意見交換の実施 ・働き方改革（女性・高齢者の活躍推進）に関する勉強会（講演会）の実施 ・女性の視点からの政府要望への提言の継続実施等
(3) リタイア人材の活用	・国、自治体等が主催するセミナー、合同説明会、各種支援制度等の当会HP、懇談会等を活用した支援、紹介 ・合同説明会への会員企業の参加呼びかけ	○当会HPでの高齢者雇用に関する国・県の支援策、セミナー等の情報発信の実施 ・北経連HPのリニューアルにより、「シルバー世代の雇用」のページを作成し、国、北陸三県等の高齢者雇用に関する施策の発信開始（4/6） ・『『高年齢者雇用促進セミナー2017』への参加（6/27、10/26）	・今後も当会HPを活用した情報発信およびセミナー等への参加を継続（シルバー人材の就業経験の活用等）。
(4) 二地域居住の推進支援	・北陸の魅力PR実施（北陸イメージアップ推進協議会HP等） ・北陸域内の二地域居住実例調査・紹介	○当会HPおよび北陸イメージアップ推進会議HPでの北陸の魅力、移住情報等の情報発信 ・北経連HPのリニューアルにより「二地域居住・移住」のページを作成し、北陸三県等の施策の発信開始（4/6）	・今後も当会HPを活用した情報発信を継続。 ・北陸イメージアップ推進会議HPは次年度中に改修し、北陸の魅力や移住情報等の情報発信の強化を実施予定。
(5) 魅力あるまちづくりに関する取組み ①北陸地域内の地域経済の専門家とのネットワークづくり	・北陸地域政策研究フォーラムとの連携 ・会員大学研究者の活用（会員懇談会等での講演）	○50周年記念シンポジウム・会員懇談会[富山]（11/27）での会員大学研究者による講演の実施 ・福井県立大 地域経済研究所教授 佐々井 司 氏 ・〃 経済学部准教授 桑原 美香 氏 ・富山大 経済学部教授 小柳津 英知 氏 ・金沢大 人間社会研究域教授 寒河江 雅彦 氏 ○第8回北陸地域政策研究フォーラムの開催後援（3/4 福井） ・北陸地域の経済・社会政策等研究者および経済人が研究発表やシンポジウムにて意見交換	・今後も地域経済研究者との連携を深め、ネットワークの構築を目指す。
②PPP、PFI等民間活力の活用 (PPP:パブリック プライベート パートナシップ) (PFI:プライベート ファイナンス イニシアティブ)	・地域プラットフォームへの参画 ・コンセッション方式（インフラ運営権の民間への売却）に関する勉強会開催	○検討会議体やセミナー等への参加 ・平成29年度 第1回とやま地域プラットフォーム（6/29） ・平成29年度 第1回ふくい地域プラットフォーム（9/27） ・平成29年度 第1回いしかわ地域プラットフォーム（12/21） ・平成29年度 第2回いしかわ地域プラットフォーム（2/14） ・コンセッション事業推進セミナー（2/16） ・平成29年度 第4回とやま地域プラットフォーム（2/26） ・平成29年度 第2回ふくい地域プラットフォーム（3/2） ○当会HPでの上記イベントの開催案内等の情報発信	・北陸地域内のプラットフォーム動向フォローを継続
(6) エネルギーセキュリティ強化に向けた取組み ①原子力、再生可能エネルギーの推進	・政府要望への織込み ・経産局等への協力等（経産省事業等への後援、支援等） ・情報収集、自治体、エネルギー事業者等との情報交換等	○政府要望への織込み ・当会単独要望（7/24、25）、三経連（7/25）、西日本経済協議会（11/10）等において、電力の安定供給確保や「重要なベースロード電源」と位置付けられた原子力発電の迅速な安全確認、安全性が確認された原子力発電所の速やかな再稼働など、持続的な経済成長の実現に向けたエネルギー政策に関する要望を実施 ○懇談会等でのアピール ・経団連との懇談会（11/9：金沢）、北陸選出自民党議員との懇談会（11/14：東京）等にてアピール	・現在稼働している原子力発電所は7基（いずれもPWR）にとどまっているほか、北陸電力では一部の電気料金値上げが実施されるなど、エネルギーコストの上昇が顕在化していることから、安全性が確認された原子力発電所の速やかな再稼働に関する要望を継続。 ・エネルギーセキュリティ確保、温室効果ガス削減に向けた諸施策、国民負担の抑制等に関する要望を継続。 ・北陸初のLNG火力（H30.11月運転開始予定）や水力発電所の委員会としての視察を検討。
②水素エネルギー、地熱、メタンハイドレート等の活用推進支援	・政府要望への織込み ・経産局等への協力等（経産省事業等への後援、支援等） ・情報収集、自治体、エネルギー事業者等との情報交換等		

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
(7) 国等に対する提言機能の強化	・政府要望活動（政府要望WG取りまとめ、デフレ脱却に向けた諸施策要望の検討、政府与党等訪問） ・国・３県等の活動フォロー ・行政当局・政党との懇談会開催	○政府に対する北陸経済界からの要望書作成、要望 ・WGによる検討、取りまとめ（5/31、6/21） ・総合対策委員会（7/6）、常任理事会（7/14） ・政府、与党等に対する要望活動（7/24～25：東京） 要望先：自民党（細田総務会長（当時））、公明党（井上幹事長） 他、関係省庁、北陸選出国會議員等に面談、提出 ○三経連要望（幹事：東北） ・三経連経済懇談会・決議（7/20：新潟） ・要望活動（7/25：東京） 要望先：自民党（細田総務会長（当時））、経産省（井原政務官）、 国交省（藤井政務官） ○西日本経済協議会要望（幹事：北陸） ・会員総会・決議（10/4：金沢） ・要望活動（11/10：東京） 要望先：自民党（二階幹事長、竹下総務会長、岸田政調会長）、 内閣府（梶山大臣）、財務省（麻生大臣）、経産省（平木政務官）、 国交省（石井大臣）、首相官邸（菅内閣官房長官） ○中部経済産業局、近畿経済産業局との懇談会（10/17：富山） ○北陸選出自民党議員との懇談会開催（11/14：東京） ・政府に対する北陸経済界からの要望および北陸新幹線の建設促進に関する当会の取組み等を説明 ○北陸・近畿地方整備局、北陸信越・中部運輸局との懇談会（2/27：富山）	・政府与党をはじめとする重要箇所に対し、北陸経済界からの意見・要望を理解いただくために直接要望できる貴重な機会として有効。 ・要望項目の施策への反映状況を確認予定（H30 春）。 要望項目の反映状況確認、整理等を踏まえた要望を継続（防災・減災面での北陸の重要性[南海トラフ地震発生時に北陸が果たせる代替機能]等）。 ○政府要望書の一部見直し検討 ・規制緩和の観点を踏まえた要望事項の検討。 ・北経連としての重点要望事項を明確化するための見せ方を工夫 ・H30 年度三経連経済懇談会（幹事：北海道） （懇談会：9/6～7、要望活動：10/17） ・H30 年度西日本経済協議会（幹事：中部） （総会：10/19、要望活動：11/9） ・北陸経済界の意見・要望を理解いただくための国会議員との直接の意見交換の機会として有効であり、継続して実施。
(8) その他	・「地域経済活性化に向けた連携協定」（協定先：日本経済団体連合会）の会員企業へのPR、積極的な利用促進 ・50 周年記念事業の実施	○経団連会員企業へ紹介 ・北陸の企業・大学の技術等を連携協定に基づき経団連会員企業へ紹介（マッチングの申し入れ） 現在までに 18 案件（内 大学発 7 件）を申請 ⇒このうち 13 件（案件の 72%）で面談実施に至り、 面談後の継続協議が 9 件（案件の 50%） ○低炭素社会の形成に向けた活動〔関連組織：北陸環境共生会議〕 ・北陸環境共生会議幹事会（7/7） ・いしかわ環境フェア 2017（8/18、19） ・とやま環境フェア 2017（10/21、22） ・つるが環境フェア 2017（11/23） ○50 周年記念事業の実施 ・米シリコンバレー視察（4/30～5/6） ・北陸新幹線に関する報告会（9/22） ・講演会・シンポジウム「経済指標から見る北陸の歩み」（11/27） ・講演会（1/31：北陸観光サロン） 「世界一訪れたい日本のつくりかた ～北陸地域への提言～」 「モダン・ツーリズム・マーケティング」	・北経連会員企業・大学への本スキームの認知度向上が必要（本スキームは無料でのマーケティング支援でもあり、一層の活用を呼びかけ）。 ・経団連企業に広く本取組を知っていただくため、北陸の企業・大学の技術を経団連内で発表する機会の創出について、経団連との話し合いを開始。 （先端技術推進委員会での評価・方向性） ・マッチング成果評価基準の検討。 ・３県と連携しながら継続実施。 ○今後の 50 周年記念事業実施予定 1. 記念式典（平成 30 年度総会にあわせて開催） （1）時期：平成 30 年 5 月 28 日（月） （2）場所：ANA クラウンプラザホテル金沢 2. 50 周年記念誌 ・平成 30 年度中に発行予定 ○『北陸近未来ビジョン』の検討 ・創立 50 周年を契機に、次の 50 年のスタートを切る平成 30 年度には、北陸の未来のありたい姿、あるべき姿を描く『北陸近未来ビジョン』を検討する。

平成 29 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（先端技術推進委員会）

I. 住みたい、働きたい、魅力あふれる北陸 2. 産業振興：先端技術推進委員会

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
(1) 域内産業集積を活かしたものの づくり拠点形成支援 ① ライフサイエンス産業の振 興支援 北陸ライフサイエンスク ラスター事業の推進 [H I A C実施(北経連支援)]	HIAC が総合調整機関として推進している地域イノベーション 戦略支援プログラム(文科省補助事業)を支援 ・北経連ネットワーク活用等によるライフサイエンス分野への 参画企業拡大支援（ライフサイエンス分野への進出、起業な ど支援） ・講演会共同開催、クラスター主催国際シンポジウム等の協力 ・北陸(日本)・韓国経済交流会議等による海外展開支援 ・分科会等開催により先方関係者との意見交換 ・その他ライフサイエンス分野の振興支援（薬用植物等）	・調査研究報告会支援 「北陸地域におけるライフサイエンス分野の産業集積」 [6/9 金沢市] 「北陸地域における元気増進産業振興の可能性」 [2/26 金沢市] ・北陸(日本)・韓国経済交流会議においてビジネスマッチングおよ び原州医療機器テクノバレーとの情報交換・連携協議を支援 [8/27～30 韓国] ・地域中核企業創出支援事業（経済産業省）への支援 「生活習慣病の予防・改善を目的とした公的保険外サービス関 連企業ネットワーク創出・支援事業」 ・北陸ライフサイエンスクラスターへ医工融合研究会(主催:金沢工 業大学・金沢医科大学、共催:北経連)の情報を提供 ・高強度チタン材料の開発にあたって、大阪大学、武生特殊鋼材等 の連携を支援（⇒ 強度 従来の3倍に） ・コンポジットハイウェイコンソーシアム 2017 [11/29～30 東京ビ ッグサイト]において炭素繊維材料動向の情報収集 ・次世代ロボット研究会 講演会「グーグルの未来を創るイノベーション」 [9/29 金沢市 参加者約 150 名] グーグルジャパン 執行役員 杉原佳亮氏 講演後、講師との意見交換会開催(久和会長、水口委員長ほか) ・高信頼システム情報交換会（北陸先端大・北経連） 講演会（北陸情報通信協議会、北陸総合通信局ほかと共催） 「経営のためのサイバーセキュリティセミナー」 [1/30 金沢市 参加者 100 名] ・北陸情報通信協議会(北陸総合通信局)との連携 講演会「地域活性化に貢献するIoT」 [4/19 金沢市] 総務省 今林政策統括官 (主催:北経連、北陸情報通信協議会、北陸総合通信局) 参加者 200 名(うち北経連関係者 70 名) 講演会「フィンテックセミナー」 [5/16 金沢市] (主催:北陸総合通信局、後援:北経連) 参加者 150 名 ビジネスモデル発表会「北陸イノベーショントライアル」 [11/14 金沢市] (主催:テレコムサービス協会、後援:北経連等) ・ICT 活用の技術、製品、サービス、ビジネスモデルを発掘 研究成果発表会「北陸地域イノベーションセミナー2017」 [11/28 金沢市] (主催:北陸総合通信局、北陸情報通信協議会 後援:北経連) 参加者 100 名	・国内外の北経連のネットワークを活かして北陸ライフ サイエンスクラスターへの情報提供、ネットワーク拡 大を継続支援。 ・北陸ライフサイエンスクラスターは文科省補助事業と しては平成 29 年度までで終了。 ・平成 30 年度以降もライフサイエンスクラスター推進 協議会を継続し、成果の事業化を推進することとして おり、支援を継続する。 ・平成 30 年度も引き続き地域中核企業創出支援事業の 採択を目指しており(H30.3 申請)、支援を継続する。 ・第 2 回薬用植物・漢方薬連携会議（北海道）の開催検 討 ・経団連との協定を活用した新たな連携を検討 ・炭素繊維複合材料をはじめとした高機能新素材に関 する最新動向情報を継続して提供する。
② 高機能新素材産業の振興支 援	高機能新素材(炭素繊維材料、マグネシウム・チタン等軽金属 材料、ナノファイバー材料)等の開発・加工技術等について情 報収集・発信を実施 ・各材料の最新情報を提供するシンポジウム・セミナー開催 ・先端技術を擁する施設等の視察		
(2) 新規事業創出、産業高度化、 付加価値向上のための産学金 官連携支援 ① 研究会等による推進	各分野において関係各所と連携し、最新情報・動向や意見交換 の場の提供 ・「次世代ロボット研究会・北陸」の開催 ・「高信頼システム情報交換会」の開催 ・北陸情報通信協議会(北陸総合通信局)との連携・協力 ・医工融合研究会への支援 等		・「IoT」や「人工知能」、「ICT」技術の活用につ いて北陸情報通信協議会等と協力して最新の情報を 提供した。 ・「第 4 次産業革命」や「ソサエティ 5.0」など超スマ ート社会への移行に対応するため、その要素となる 「ロボット」、「自動運転」、「人工知能」、「IoT」 などの先端技術分野の最新情報を提供するととも に、研究者や企業関係者のネットワーク拡大を支援 する。

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
		講演会「5 G (第 5 世代移動通信システム) が創る未来」 [2/23 金沢市] (主催：北陸総合通信局、北陸情報通信協議会 後援：北経連) 参加者約 170 名 ・医工融合研究会(金沢工業大学・金沢医科大学主催、北経連共催) 医療・介護機材等の開発研究に関する参加者間(大学・企業) の情報収集や技術交流を支援 [6/9、8/4、11/17、2/24]	・研究会等の活動は医工連携に関わる情報共有の機会となり、今後の連携拡大が期待される。
②技術アドバイス・コーディネート活動 [H I A C 実施(北経連支援)]	・各種交流の場を通して得られた大学の研究シーズや企業のニーズを産官学連携コーディネータ[H I A C]に橋渡しすることにより、産学官連携による事業展開やマッチング等を支援 ・公的支援事業や補助金制度情報の入手及び関連組織・企業への情報提供	《参考》 経団連との「地域経済活性化に向けた連携協定」(総合対策委員会所管)に基づく経団連企業への紹介(マッチング申入れ) ・昨年 1 月より現在までに 18 案件(大学発 7 件含む)を申請 ⇒うち 13 件で面談実施され、その中で 9 件(18 案件の 50%)が継続協議	・北経連のネットワークの中で得た大学の研究シーズや企業のニーズ情報を適宜 H I A C と共有していく。 ・左記「連携協定」に関するフォロー (成果評価基準の検討 等)
③北陸地域ものづくり展示会への支援	・北陸技術交流テクノフェアやマッチングハブ金沢など地域の展示会開催に対する協力	展示会への出展 「北陸技術交流テクノフェア」[10/26～27 福井市 来場 17 千名] 主催：技術交流テクノフェア実行委員会(北経連は実行委員) ・北経連ブースにて、ロボット研究会会員大学研究室の研究内容を展示・解説 金沢工大： ・機能的電気刺激を利用した下肢リハビリテーションシステム ・把持感覚フィードバックを組み込んだ筋電義手 ・声掛けシステムを搭載した立ち上がり動作支援装置 金沢大： ・産業用ロボットによる各種作業の自動化 「Matching HUB Kanazawa 2017」 [10/31～11/1 金沢市] 共催：北陸先端科学技術大学院大学・中小機構・産総研 後援：北経連 等 ・北経連ブースにおいて産業振興の取り組みや「北陸のシェアトップ 100」などを P R	・各大学の研究室の先生や学生が展示内容を説明した。多くのブース来場者があり、盛況であった。 ・各大学の次世代ロボット研究会参加メンバー等の研究内容を企業等に P R し、今後の企業との連携が期待される。 ・北陸技術交流テクノフェア、マッチングハブ金沢への協力を継続する。
(3) 新技術等の活用による産業振興支援 ①講演会、セミナー等による事例紹介、啓発	・最新技術に精通した講師による講演会、セミナー等を開催し、時宜を得た情報提供・事例紹介を実施(例：A I、自動運転、I o T) ・紹介冊子「北陸のシェアトップ 100」の改訂および有効活用	講演会「シリコンバレーの動向とデザインシンキング」 [8/7 金沢市 参加者 70 名] S A P ジャパン(株) ディレクター 村田聡一郎氏 他 ・講演会後、講師との意見交換会開催(水口先端委委員長ほか) 《再掲》講演会「グーグルの未来を創るイノベーション」 [9/29 金沢市 参加者 150 名] グーグルジャパン 執行役員 杉原佳亮氏 掲載品目を拡大し内容も充実させた「北陸のシェアトップ 150」を発行(H30. 4 月)	・昨年 5 月のシリコンバレー視察後、S A P、グーグルから講師を招き先端技術情報を提供している。I o T、ロボット、人工知能などの分野においては技術革新がかつてないスピードで進んでおり、引き続き最新情報を提供していく。 ・シリコンバレー視察を踏まえたベンチャー振興のための提案を整理するとともに、北陸型のベンチャーエコシステムの構築を目指して、ベンチャー動向や支援方策などを調査・情報発信し、ネットワーク作りを支援する。 ・「北陸のシェアトップ 150」を会合や講演会など機会あるごとに配布・紹介し、北陸地方の企業・産業状況の積極的な P R 活動を展開していく。

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
②大学・企業の視察会、最新技術の紹介	・大学の研究施設や企業の先端施設の視察会等を実施し、最新技術を紹介	大学見学会開催（総合対策委員会と共催） 富山大学五福・杉谷キャンパスにて実施 [8/2] 参加：久和会長、水口委員長ほか約 30 名 ・遠藤学長による大学の取組みの概要説明 ・都市デザイン学部（新設）および主要研究 5 テーマの紹介 ・先端材料研究センター、和漢医薬学総合研究所等を見学 先端技術見学会開催（北陸情報通信協議会と共催） [2/24 福井方面 参加者約 20 名] (株)ポストンクラブ：ウェアラブル端末事業 福井県工業技術センター：LED テキスタイル、 太陽光発電テキスタイル ほか 《再掲》医工融合研究会の情報提供	・大学見学会はこれまで北陸先端大、金沢工大、金沢大、富山大で実施 ・企業と大学が活動や施設の内容を知る機会となり、今後の連携への発展が期待される。 ・今後はその他の大学や企業についても施設の視察会等を企画していく。 ・北陸管内外の最新技術情報について幅広く提供していく。 ・見学会を引き続き継続する。
(4) 企業の人材育成支援 ①講演会、セミナー等による事例紹介、啓発	・業務能力向上を支援 (テーマ：デザイン、サイバーセキュリティ、知的財産 等)	《再掲》講演会「経営のためのサイバーセキュリティセミナー」 [1/30 金沢市]	・ものづくりにおいて重要性が高まっているデザイン等の分野における人材育成に資する情報を提供していく。
(5) 企業誘致等 ①域外企業の本社機能移転の促進支援 ②研究機関等政府関係機関の誘致支援	・首都圏、及び中京または関西圏における大規模展示会に出展し北陸の企業立地環境（本社機能を含む）の P R を実施 ・北陸 3 県等の誘致要望内容を情報収集 ・国への政策提言・要望に反映	大規模展示会等への出展 P R 「メッセナゴヤ 2017」 [11/15～18 名古屋市 来場者 63 千人] ブースへの来場者アンケート実施： 251 件 「ネプコンジャパン」 [1/17～19 東京ビッグサイト 来場者 114 千人] ブースへの来場者アンケート実施： 91 件	・ものづくり企業が多く集まる展示会において、北陸の企業立地環境を P R し、アンケートによる情報収集ができた。 ・首都圏、及び中京または関西圏における大規模展示会に出展し北陸の企業立地環境（本社・研究機能を含む）の P R を実施。
(6) 6 次産業化に資する農林水産業との連携	・大学研究者、行政と連携し、農商工連携の先進的事例等情報収集	講演会「これからの農業を支えるイノベーション ～農商工連携の可能性・方向性を探る～」 [1/26 金沢市 参加者 60 名] 講師：富士通(株) A k i s a i 事業部 若林エキスパート 石川県立大 熊谷学長、三沢教授	・ICT 活用の観点から農業分野に関しても情報提供していく。

平成 29 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（社会基盤整備委員会）

Ⅱ．三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海国土軸の中樞を担う北陸

1．社会基盤整備：社会基盤整備委員会

関東、関西および中部との交流促進のためのアクセスの向上																								
アクションプラン実施項目	2017 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性																					
・ 北陸新幹線の敦賀までの早期開業	①北陸三県等と連携した政府、与党等に対する、早期開業に向けた要望活動	○政府・与党等に対する要望活動実施。 <table><tr><th>日程</th><th>活動内容</th><th>当会出席者</th></tr><tr><td>5/23</td><td>北陸新幹線建設促進同盟会中央要請</td><td>会長, 高木副会長他</td></tr><tr><td>7/24</td><td>政府要望</td><td>会長, 浅野常任理事、森田理事, 山崎理事 他</td></tr><tr><td>7/25</td><td>三経連要望活動</td><td>会長, 専務理事他</td></tr><tr><td>11/10</td><td>西経協要望活動</td><td>会長, 専務理事他</td></tr><tr><td>11/14</td><td>北陸新幹線建設促進同盟会中央要請</td><td>会長, 菱沼副会長 稲垣副会長 他</td></tr><tr><td>11/15</td><td>予算税制政策懇談会(自民党)</td><td>常務理事</td></tr></table> ⇒各要請や経団連との懇談会(11/9)、国交省との懇話会(2/27)等のあらゆる機会を捉えて、金沢・敦賀間の 2022 年度末までの確実な開業実現と更なる前倒し。敦賀・新大阪間における 2030 年頃までの一日も早い全線整備。中京圏へのアクセス向上についてアピール。	日程	活動内容	当会出席者	5/23	北陸新幹線建設促進同盟会中央要請	会長, 高木副会長他	7/24	政府要望	会長, 浅野常任理事、森田理事, 山崎理事 他	7/25	三経連要望活動	会長, 専務理事他	11/10	西経協要望活動	会長, 専務理事他	11/14	北陸新幹線建設促進同盟会中央要請	会長, 菱沼副会長 稲垣副会長 他	11/15	予算税制政策懇談会(自民党)	常務理事	○要望活動継続実施 ・ 2022 年度末までの確実な開業および更なる前倒し。 ・ 敦賀開業後の中京へのアクセス維持向上 （敦賀駅での乗換利便性、在来線特急本数維持等） ・ 並行在来線への支援 （利用者利便性向上、地元負担の軽減 等）
	日程	活動内容	当会出席者																					
5/23	北陸新幹線建設促進同盟会中央要請	会長, 高木副会長他																						
7/24	政府要望	会長, 浅野常任理事、森田理事, 山崎理事 他																						
7/25	三経連要望活動	会長, 専務理事他																						
11/10	西経協要望活動	会長, 専務理事他																						
11/14	北陸新幹線建設促進同盟会中央要請	会長, 菱沼副会長 稲垣副会長 他																						
11/15	予算税制政策懇談会(自民党)	常務理事																						
	②【調査研究】金沢開業の効果の検証と課題の整理を踏まえた対応。	○調査研究(2017. 9. 22 公表) 会員懇談会(福井会場)にて講演会実施 「北陸新幹線金沢開業の整理と敦賀延伸に向けた課題」 福井県立大学地域経済研究所に調査委託																						
・ フル規格での大阪までの延伸	①大阪までの 2030 年ごろまでの一日も早い開業に向け、北陸三県、関西経済連合会等と連携した政府、与党等に対する要望活動実施。	○関西経済界との連携 11/8「北陸新幹線の早期全線開業実現に向けた関西・北陸経済団体のトップ会談」開催 →当会会長、関経連松本会長、大阪商工会議所尾崎会頭、関西経済同友会鈴木代表幹事により、早期開業に向けた連携を確認。	○大阪までの 2030 年ごろまでの一日も早い開業に向け要望活動実施 ・ 駅ルート調査、環境アセスメントの速やかな実施 ・ 安定的財源確保による早期着工 ・ 中京圏への在来線特急本数の維持・拡大などによるアクセス確保																					
	②【調査研究】大阪早期開業による経済効果の測定 ・ 関西経済連合会との共同研究	○調査研究 「北陸新幹線全線開業前倒しに係る経済波及効果」 関経連との共同調査	○関西経済界との連携 引続き要望活動等にて連携 ○調査結果公表に向けて ⇒調査内容を踏まえ、関経連等と協調して大阪早期開業に向けての機運醸成を図る。																					
・ ゴールデンループの周知	①インバウンド需要のみならず、大規模災害時の国土代替補完機能としてのゴールデンループをアピール。	○アピール実施 南海トラフ地震など大規模災害時の東海道新幹線代替機能としての役割を、各要請や懇談会等にてアピール実施。 9/22 公表調査報告書に織り込み 11/9 経団連懇談会にて「ゴールデンループ」をテーマとし、東海道新幹線の代替機能、3 大都市圏(東京・大阪・名古屋)との広域経済圏形成に資すると理解を得た。	○ゴールデンループについて、広域観光推進および企業誘致分野と連携し、PR 継続。																					

陸・海・空一体となった人流・物流基盤の整備促進			
アクションプラン実施項目	2017 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
・太平洋側での巨大災害発生時に実質的な代替機能を持つ物流ネットワークの整備	①「北陸地域国際物流戦略チーム広域バックアップ専門部会」への参画 ②スマートロジスティクスの推進に向けた情報収集、勉強会等の実施	○会合出席 11/14「南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練」＜図上訓練＞ ・北陸および東海地区の行政、荷主企業等 93 名が参加 ○要望活動実施 7/24「政府に対する北陸経済界からの要望書」を与党・関係省庁に提出。 ・今回「物流機能の維持・強化」の中で「物流分野における労働力不足等に対応するための新技術等の導入促進（スマートロジスティクスの推進）」を初めて要望 ○勉強会の実施 12/1 社会基盤整備委員会において勉強会開催 「自動運転技術が変えるトラック・バスの未来」	○「広域バックアップ専門部会」の活動（代替輸送訓練含む）への参画を継続 ○要望活動継続実施 ○物流に関する情報収集・勉強会等の継続実施 ○防災減災に対する取組み・情報収集を強化
・高規格幹線道路の4車線化、ミッシングリンクの解消	①主催行事や三経連・西日本経済協議会等での国交省等に対する、代替補完機能等をアピールする要望活動、NEXCO 中日本との情報連携	○要望活動実施 7/24「政府に対する北陸経済界からの要望書」を与党・関係省庁に提出。 8/2「東海北陸自動車道建設促進同盟会」「東海環状道路建設促進期成同盟会」→国土交通省に対し、早期全線4車線化等を提言 ○NEXCO 中日本連携 10/19 中部縦貫自動車道・東海北陸自動車道建設区間視察 3/19 社会基盤整備委員会において勉強会開催	○要望活動継続実施 ・未開通部解消および4車線化の早期着手・整備促進 →東海北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道、能越自動車道、中部縦貫自動車道 ○NEXCO 中日本との情報連携継続
・北極海航路等利用拡大に対応する日本海港湾拠点の国際化	①整備促進に向けた北陸三県、他経済団体等との連携（政府への要望活動の実施等） ・クルーズ船誘致に向けた港湾整備 ・関税・入国管理・検疫(CIQ)対応の迅速化 等 ②三県港湾の利活用に関する勉強会の実施 ③東海地区での北陸港湾ポートセールスの実施 ・北陸港湾の利用拡大を荷主企業等へ PR	○要望活動実施 7/24「政府に対する北陸経済界からの要望書」を与党・関係省庁に提出。 ○代替輸送訓練（図上訓練）参加者との懇親情報交換会 ・11/14「南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練」実施後に情報交換会開催し、北陸3県の港湾関係者が東海地区の参加企業に対して北陸港湾の利用拡大をPR。	○要望活動継続実施 ・太平洋側代替機能を意識した港湾整備 ○情報交換会出席者と情報共有、意見交換およびポートセールスの場としてPR継続実施
・北陸地域内2次交通ネットワークの利便性の向上	①整備促進に向けた北陸三県、他経済団体等との連携（政府への要望活動の実施、利便性向上に向けたバス・私鉄事業者との連携等） ②各県並行在来線利用促進協議会等への参加	○要望活動実施 7/24「政府に対する北陸経済界からの要望書」を与党・関係省庁に提出。 ○協議会等参加 4/28 福井県並行在来線対策協議会幹事会 6/14 あいの風とやま鉄道利用促進協議会 12/13 あいの風とやま鉄道利用促進協議会	○要望活動継続実施 ・地域利便性を確保するため、三セク会社への国による支援、JRからの運営および設備投資に関する協力支援確保。 ○バス・私鉄事業者との情報連携
・北陸地域内空港の活性化（LCCの誘致、プライベートジェットの受け入れ推進等）	①活性化に向けた行政、他経済団体等との連携によるPR（政府要望活動の実施、利便性向上に向けた航空会社との連携等） ・富山、能登、小松空港の便数維持、乗り継ぎ割引の拡大 ・成田空港の利活用（増便、国際便接続の利便性向上） ・域内空港間の国内外路線の重複日程、時間帯の是正による回遊性の確保 等 ②域内空港の利活用に関する当会内での勉強会の実施	○要望活動実施 7/24 「政府に対する北陸経済界からの要望書」を与党・関係省庁に提出。 ○PR活動 10/26～27 ・羽田空港国内線第2旅客ターミナルにおいて、京急電鉄と連携して、北陸誘客促進および北陸の3空港（富山きときと空港、のと里山空港、小松空港）の羽田便の利用促進イベント実施。 （「羽田乗継割引運賃」を大型パネルおよびパンフレット配布によりPR）	○要望活動継続実施 ・インバウンドを含む国内乗継の利用促進、国内・国際線着陸料の軽減措置の拡充 ・国際線の新規就航等経費支援への拡充 ○航空会社との情報連携

平成 29 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（国際交流推進委員会）

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
(1) 北陸地域・企業の国際化のあり方・方向性の提言 ①経済活性化に資する企業の国際化に関する調査研究 ②大学・研究機関との連携強化	○研究報告書の出版 「北陸地方創生と国際化，イノベーション」（仮題）として出版（日本評論社より 8 月末予定） ○研究報告会の開催 シンポジウムを開催し研究結果を報告（ジェトロ・アジア経済研究所と共催）	○刊行内容 ・書名:「北陸地方創生と国際化・イノベーション」 ・刊行日:9 月 22 日 ・出版社:日本評論社 ・仕様:A5 版、240 頁、定価 3,700 円 ○シンポジウム開催内容 ・主催:北陸 AJEC、経済産業研究所、ジェトロ・アジア経済研究所、福井県立大学 ・日時:11 月 30 日(木) 13:20～18:20 ・会場:金沢ニューグランドホテル ・参加者:120 名 ・プログラム ・基調講演、研究報告、パネルディスカッション ・懇親交流会	・経済産業省の企業統計や、北経連会員企業のアンケート調査から収集したデータを活用して、北陸地方の製造業企業の国際化と生産性に関する研究成果をとりまとめ、北陸経済の活性化に資する提言を実施。 ・企業レベルデータを用いて、全国 9 地域別に国際化、生産性の分析を行った実証研究は本書が初出と思われる。 ・研究成果の社会還元を図るため研究会メンバー4 機関で共同シンポジウムを開催。 ○研究成果を踏まえて北陸企業の国際化環境向上に資する調査を検討・実施。 「北陸企業の外国人材の採用・活用に向けた調査研究」（調査内容） ・高度外国人材のグローバル化 ・我が国の外国人材活用支援施策 ・北陸(日本)企業外国人材受入れ、活用状況 ・外国人材採用、育成、定着の課題 (調査体制) ・北陸 AJEC とジェトロとの連携研究（研究会を年 5～6 回開催） (調査期間) ・1.5 年程度 1 年目～2 年目前半：調査、執筆、取り纏め 2 年目：調査結果を踏まえたシンポジウム開催（ジェトロと共催） ○環日本海（極東ロシア、東北三省等）に着目したシンポジウム等の実施を検討。
(2) 環境変化に対応した交流事業の方向性検討・実施 ①北陸・韓国経済交流会議の効果的な実施	○「第 18 回北陸(日本)・韓国経済交流会議」（8/27～30 安東市開催）の実施	○第 18 回北陸（日本）・韓国経済交流会議 日時:8 月 27 日～8 月 30 日 場所:韓国 慶尚北道 安東(アンドン)市 テーマ:「共通課題解決に向けた日韓地方間の協力」 ・全体会議:中部経済産業局、中村留精密工業㈱、金沢工業大学 ・専門分科会:①自治体分科会 ②イノベーション分科会 ③ビジネスマッチング (日本 6 社、韓国 16 社 商談件数:32 件) ・産業/観光視察:東レ先端素材㈱、慶尚北道庁舎 安東河回村(ハフェマウル) ・参加者:日本側 52 名、韓国側 120 名	・全体会議では日本と韓国の共通課題（一極集中化、少子高齢化等）についての会議を実施。 ・ビジネスマッチングは、より具体的な成果を目指し、業種・目的の近い企業同士の商談を実施。 ・産業視察では韓国進出の成功事例として大邱にある東レ先端素材㈱を見学。 ・次年度（第 19 回）は福井県での開催を予定。 ○第 19 回 北陸(日本)・韓国経済交流会議 ・日時：8 月 26 日（日）～29 日（水） ・場所：ホテルフジタ福井 ・テーマ：「日韓新ステージにおける地域間連携に向けて」（仮）

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
②海外諸国との交流 (ASEAN 諸国等)	・関係機関と連携した ASEAN との経済交流促進 ○在大阪ベトナム総領事館，政策研究大学院大学（GRIPS）と連携したベトナムとの経済交流会議の実施 ○タイ工業省傘下の「お互いフォーラム協会」と連携したタイをはじめとした ASEAN との経済交流促進	○「<u>ベトナム経済交流会議 in 金沢</u>」 ・日時:5 月 17 日 14:00～18:30 ・場所:金沢ニューグランドホテル セミナー:14:00～17:30「銀扇」 交流会 :17:30～18:30「パラッツォ」 ・主催:在大阪ベトナム総領事館、北陸 AJEC、JETRO アジア経済研究所 ・後援:JETRO 金沢、金沢商工会議所、北陸経済連合会、中小企業基盤整備機構北陸本部 ・概要:ベトナム投資環境解説、進出企業の現状報告、ベトナム企業からの発表等 ・参加者:110 名(地元大学のベトナム留学生招待) ○「<u>ベトナム政府高官との経済交流会議 in 金沢</u>」 ・日時:10 月 20 日 16:00～20:00 ・場所:セミナー 金沢市文化ホール 交流会 金沢ニューグランドホテル「銀扇」 ・主催:北陸 AJEC ・共催:政策研究大学院大学(GRIPS)、北陸経済連合会、JETRO(富山、石川、福井) ・後援:石川県商工会議所連合会、JICA 北陸、中小企業基盤整備機構北陸本部 ・概要:－JETRO より「最近の日越経済交流の現状」報告 －金沢工大、先端大のベトナム関係の取組紹介 －「北陸ベトナム相互企業進出促進協会」設立発表 ・参加者:106 名 (地元大学のベトナム留学生招待) ○「<u>北陸ベトナム相互企業進出促進協会</u>」設立支援・参画 ・顧問として北陸 AJEC が参画 ・会 長:三谷 充(三谷産業㈱ 会長) ・事務局:富山 ㈱ジャパンフラワーコーポレーション 石川 三谷産業㈱ 福井 日華化学㈱ ・第 1 回総会:12 月 26 日 金沢ニューグランドホテル ○「<u>お互いフォーラム（タイとの経済交流会議）in 富山</u>」 （「<u>第 2 回北陸・ASEAN お互い経済交流会議</u>」） ・開催予定:平成 30 年 2 月～3 月開催予定 ⇒ <u>延期</u> ・主催 :富山県 ・北陸 AJEC はタイ工業省傘下の「お互いフォーラム協会」と連携協定を結んでおり、本交流会議を支援。	・海外進出先として北陸企業の注目度一位「ベトナム」に関連した経済交流会議・セミナーを H29 年度は 3 回開催。 これらの交流会議が「北陸・ベトナム相互企業進出促進協会」設立に寄与。 ○次年度以降 関係機関と連携し、ベトナム、タイ+その他 SEAN 諸国との経済交流会議の開催を検討。 【GRIPS との連携】 ・ベトナム政府高官との経済交流会議に加え、「インドネシア行政官との経済交流会議（新規）」⇒2018 年 9 月 3 日に金沢にて本会議開催予定 【北陸・ベトナム相互企業進出促進協会との連携】 ・「ベトナム経済ミッションの派遣」を支援 第一回(ハノイ近郊)は 2018 年 7 月 10 日～15 日 第二回(ホーチミン近郊)は 2018 年 1 月～3 月の間に実施予定 【タイ工業省傘下「お互いフォーラム協会」と連携】 ・「タイとの経済交流会議 in 富山」 2018 年 6 月 13 日開催予定

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
③海外関連セミナーの開催	・関係機関と連携した海外情勢，企業の国際展開に関するセミナーの開催等 【その他事業計画外の活動など】	○「<u>海外展開支援施策セミナー in 北陸</u>」 ・日時:6 月 13 日 10:00～12:00 ・場所:金沢ニューグランドホテル - 主催:中部経済産業局、北陸 AJEC ・北陸企業の海外展開事例、海外展開支援制度の説明 ・参加者 60 名 ○「<u>富山・ミャンマー伝統医薬シンポジウム</u>」 ・日時:6 月 26 日 ・場所:高志会館 (主催:富山大 和漢医薬学総合研究所、協賛:HIAC、後援:北陸 AJEC) ○「<u>ベトナム経済セミナー in 福井</u>」 ～ハナム省の投資環境について～ ・日時:11 月 7 日 14:00～16:30 ・場所:福井駅西口 ハピリンホール内 ・主催:在大阪ベトナム総領事館、ベトナムハナム省政府、北陸 AJEC - 共催:北陸・ベトナム相互企業進出促進協会、北陸経済連合会 - 後援:JETRO 福井 ・内容:ベトナムハナム省関係者来訪、投資環境・インセンティブ等の説明、進出企業から事例発表、「北陸ベトナム相互企業進出促進協会」設立について ・参加者:28 名 ○「<u>第 4 回 韓国 KOTRA との共創セミナー</u>」 ・日時:12 月 12 日 15:00～18:30 ・場所:ザ・グランデュアーズフクイ(ホテルフジタ福井内) ・主催:KOTRA 共催:北陸経済連合会、北陸 AJEC ・内容:韓国最新経済動向、韓国人材採用支援施策、採用に関する注意点、採用例の発表。 ・参加者 34 名 【その他事業計画外の活動など】 ○「<u>アゼルバイジャンのライフサイエンス市場開拓フォーラム</u>」 ・日時:9 月 26 日 13:30～17:30 ・場所:富山国際会議場 ・主催:JICA,アゼルバイジャン大使館、日揮(株) ・後援:北陸経済連合会が後援 ・会議概要 - ー小松空港⇄アゼルバイジャン(バクー)の航空貨物便を活用した新たなビジネスチャンスの可能性について ○「<u>日本・イタリア ビジネスクループ会議</u>」 ・日時:10 月 23、24 日 ・場所:ホテル日航金沢 ・開催誘致及び支援 - ー金沢での開催誘致推進 - ー久和会長が北陸経済界を代表し開催挨拶 - ー箔一、森八での体験や渋谷工業産業視察などの協力 ○<u>中国アリババサイト（T-mall）での「北陸物産旗艦店」開設支援中</u> ・北陸企業と T-mall 開設企業のマッチング実施。 - H30 年度中の「北陸物産旗艦店」開設を目指し協力中。	継続方針 ○次年度は： ・「環日本海(極東ロシア、東北三省)」に着目したセミナーの開催 ・その他セミナー：各関係機関(3 県の大学、ERINA、ジェトロ・アジア経済研究所等)と連携して開催 ○「第 5 回 韓国 KOTRA との共創セミナー」 ・KOTRA 名古屋と連携（12 月頃開催予定） ○都度対応していく。

平成 29 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（広域観光推進委員会）

Ⅲ. 地域の魅力を積極的に国内外に発信することにより、人や企業を惹きつける北陸
2. 広域観光振興：広域観光推進委員会

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
(1) 北陸三県の観光業界が一体となった広域観光の推進 ①「北陸観光サロン」等の開催による連携強化	○「北陸観光サロン」等の開催による連携強化 ・年 2 回程度の開催	○「北陸観光サロン」等の開催 ・第 6 回サロン開催（ミライロ原口講師） ・北陸はひとつ「金・福・富お宝街道」旅行商品化プロモーション（11/22 ザ・グランユアーズ） ・第 7 回サロン開催（デービッド・アトキンソン氏講演）	○「北陸観光サロン」等の開催 ・サロンの 2 回程度開催
②観光産業を担う人材育成への取り組み	○観光産業を担う人材育成への取り組み ・大学生観光まちづくりコンテスト北陸ステージの誘致 ・北陸三県誘客促進連携協議会への参画	○観光産業を担う人材育成への取り組み ・大学生観光まちづくりコンテスト説明会 6/13、本選 9/5 北陸ステージの実施(34 大学 54 チームの参加) ・「北陸三県誘客促進連携協議会」（5 月 24 日） 5/24 理事会：本年度事業に向けた取組 7/26 北陸誘客促進会議 11/ 6 幹事会 11/15 2018 年度観光素材説明会（東京）	○観光産業を担う人材育成への取り組み ・大学生観光まちづくりコンテスト説明会、本選 北陸ステージの実施および 3 年間の総括 ⇒北陸イメージアップ推進会議の了承を得て継続 ○広域観光のあり方に関する調査 ・他地域の広域 DMO の現状把握等 ○その他 ・「北陸三県誘客促進連携協議会」 ・「北陸広域観光推進協議会」 ・「北陸イメージアップ推進会議」
(2) 国内外に向けた北陸の魅力のより効果的な発信 ①インターネットを使った海外への情報発信	○インターネットを使った海外への情報発信	○インターネットを使った海外への情報発信 ・H29. 3 月中に完成、H29. 4 月より公開	○インターネットを使った海外への情報発信 ・今後も継続して発信
②北陸新幹線ルートを加えた太平洋側との「ゴールデンループ」の形成	○北陸新幹線ルートを加えた太平洋側とのゴールデンループの形成 ・名刺の裏面への掲載等による周知	○ゴールデンループの P R ・名刺の裏面への掲載等による周知済 ・P R 記事掲載（H30. 2/19 北陸中日新聞） ○北陸物語 Face Book による情報発信 ・北陸地域の行事(関連性を持たせた紹介)	○ゴールデンループの P R ・今後も継続して発信 ○北陸物語 Face Book による情報発信 ・今後も継続して発信 ○「北陸文化」としてのブランド化に向けた取り組み
(3) 関東、関西、中部をはじめとする大都市圏との交流拡大 ①首都圏でのイメージアップイベントの実施	○首都圏でのイメージアップイベントの実施 ・江ノ電との企画電車の検討 ・京浜急行との羽田等での北陸プロモーション検討	○首都圏でのイメージアップイベントの実施 ・江ノ電との企画電車、伝統工芸体験教室（H30. 2/24～26 実施） ・京浜急行との羽田での北陸プロモーション(H29. 10/26～27 実施)	○首都圏でのイメージアップイベントの実施 ・江ノ電との企画電車、伝統工芸体験教室 ・京浜急行との羽田での北陸プロモーション ・N E X C O との連携事業（湘南・北陸地域での物産展の開催等）
②経済団体、J R 他、関係機関との連携による交流事業への取り組み	○経済団体、J R 他関係機関との連携による交流事業の取り組み ・「昇龍道トップミッション」参加 ・昇龍道物産観光展実行委員会⇒中部 DMO へ移管 ・中部広域観光推進協議会の広域 DMO 化と久和会長の広域 DMO 「中央日本総合観光機構」への副会長就任	○経済団体、J R 他関係機関との連携による交流事業の取り組み ・第 9 回昇龍道プロジェクト推進協議会（3/16） ・「昇龍道トップミッション」（タイ） 松原広域観光推進委員会副委員長参加 9/2～5 ・中部広域観光推進協議会の広域 DMO 化と久和会長の広域 DMO 「中央日本総合観光機構」への副会長就任	○経済団体、J R 他関係機関との連携による交流事業の取り組み ・昇龍道プロジェクト推進協議会への参加 ・昇龍道トップミッションへの参加 ・「中央日本総合観光機構」への参加
(4) 観光客の増加に伴う諸問題への取り組み ①外国語表示・Wi-Fi 整備等	○外国語表示・Wi-Fi 整備等 ・委員会で講演会等を開催し、理解を深め、政府要望へ生かす	○外国語表示・Wi-Fi 整備等 ・前回の委員会での講演会を踏まえ、7 月に政府要望を行う。 ・「(仮称) 昇龍道 FREE Wi-Fi プロジェクト」に中部経済連合会とともに参画。昇龍道エリアにおける Wi-Fi 環境の整備等を推進。	○外国語表示・Wi-Fi 整備等 ・観光インフラに対する要望の実施 ・昇龍道エリアにおける無料 Wi-Fi 環境のプロモーションの実施(「昇龍道 FREE Wi-Fi プロジェクト」) ○民泊サービスの動向把握等
(5) 新たな視点での観光資源の発掘 ①長期的視点に立った発掘 ・長期滞在型観光の促進に向けた調査提言 等 ②女性ニーズ、外国人ニーズにマッチした施設、観光ルートの整備	○長期的視点に立った発掘 ・北陸のイメージ調査を継続(長期滞在型観光視点から) ○女性ニーズ、外国人ニーズにマッチした施設、観光ルートの整備	○北陸地域のイメージ調査 ・北陸経済研究所と委託契約し、アンケート実施済、長期滞在型観光など提案検討。⇒委員会で報告済	○「北陸イメージアップ基礎調査報告書（H29. 4）」等を活用した要望の継続実施 ○女性ニーズ・外国人ニーズにマッチした施設・観光ルートの整備に向けた現状把握および要望の実施

アクションプラン実施項目	平成 29 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
③ニューツーリズムの創造 ・教育観光と産業観光を組み合わせたニューツーリズム ・歴史、スポーツなどのニューツーリズム ・産業観光における時代別、分野別等のルート策定	○ニューツーリズムの創造 ・教育旅行誘致に関して、3 県、ＪＲの主導する「北陸 3 県修学旅行誘致推進プロジェクト」と連携 ・産業観光調査を分析。ネットワークを活用し推進	○ニューツーリズムの創造 ・修学旅行誘致を 3 県、ＪＲと連携しながら模索（8 月 3 日 修学旅行フェア） （3 月 1 3 日 修学旅行フェア ※産業観光も提案） ・北陸産業活性化センターの「北陸地域における産業観光の現状と課題」に関する調査および研究に参加	○ニューツーリズムの創造 ・教育旅行誘致に関して、3 県、ＪＲの主導する「北陸 3 県修学旅行誘致推進プロジェクト」と連携（教育旅行に産業観光の組み合わせも継続提案） ・産業観光のあり方に関する検討 ・産業観光における時代別、分野別等のルート策定 ・歴史、スポーツなどのニューツーリズムの具体的内容について検討
(6) その他	○ホームページの運営・管理、掲載情報、リンクの改修	・コスト削減に努めながら実施	・ホームページの運営・管理 ・委員会で講演会等を開催し、提言・要望に活かす

平成29年度 決算報告書

1. 貸借対照表 平成30年3月31日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	38,051,056	西経協総会引当金	700,000
敷金(北国不動産)	1,343,200	創立50周年事業引当金	6,000,000
		情報機器等整備引当金	5,000,000
		退職給与引当金	1,027,064
		北陸近未来ビジョン引当金	3,000,000
		敷金(北国不動産)	1,343,200
		納税預かり金	177,016
		剰余金	22,146,976
合計	39,394,256	合計	39,394,256

2. 収支計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
会費収入	86,920,000	事業費	49,130,217
協力金	700,000	会議費	2,653,082
雑収入	1,360	人件費	10,048,353
引当金戻入	9,500,000	事務費	19,379,329
		引当金	8,400,000
前年度繰越金	14,636,597	剰余金	22,146,976
合計	111,757,957	合計	111,757,957

平成29年度 北経連 決算

(収入の部)

(単位:円)

	平成29年度	平成29年度	差引(B-A)	摘 要
	予算額(A)	決算額(B)		
会費	86,430,000	86,920,000	490,000	
協力金	700,000	700,000	0	
雑収入	50,000	1,360	▲ 48,640	
引当金戻入	9,500,000	9,500,000	0	創立50周年事業引当金550万円取崩し 西経協総会引当金400万円取崩し
前年度繰越金	14,636,597	14,636,597	0	
合計	111,316,597	111,757,957	441,360	

(支出の部)

(単位:円、摘要は万円)

	平成29年度	平成29年度	差引(B-A)	摘 要 (万円未満 切り捨て)	
	予算額(A)	決算額(B)		予算	決算額
事業費	58,200,000	49,130,217	▲ 9,069,783		
委員会活動費	21,750,000	17,939,392	▲ 3,810,608	・ 総合対策委員会 520万円 ・ 先端技術推進委員会 490万円 ・ 社会基盤整備委員会 380万円 ・ 国際交流推進委員会 175万円 ・ 広域観光推進委員会 560万円 ・ 広報・組織基盤委員会 50万円	434万円 254万円 359万円 162万円 556万円 29万円
連携活動費	36,450,000	31,190,825	▲ 5,259,175	・ 会員懇談会等 510万円 ・ 他経済団体との懇談会等 1,050万円 (うち西日本経済協議会) (500万円) ・ 行政との懇談会 230万円 ・ 支援団体への支援(北陸AJEC等) 690万円 ・ その他事業費 595万円 ・ 50周年記念事業費 570万円	384万円 813万円 (388万円) 187万円 685万円 465万円 585万円
会議費	3,160,000	2,653,082	▲ 506,918		
人件費	10,200,000	10,048,353	▲ 151,647		
事務費	21,250,000	19,379,329	▲ 1,870,671		
引当金	1,400,000	8,400,000	7,000,000	・ 次回西経協総会引当金 70万円 ・ 退職給与引当金 20万円 ・ 情報機器等整備引当金 50万円 ・ 北陸近未来ビジョン引当金	70万円 20万円 450万円 300万円
繰越金	17,106,597	22,146,976	5,040,379		
合計	111,316,597	111,757,957	441,360		

監査報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日に至る期間における、北陸経済連合会の決算書を監査致しました結果、正当かつ妥当であることを認めます。

平成30年4月25日

北 陸 経 済 連 合 会

監 事

荒井由泰

